



金属アレルギー

以前から金属アレルギー対応めっきのニーズはお客様から強くありました。国内はもちろん海外に至っても金属アレルギー対応のニーズは高まってきております。最近では宝飾品に限らず肌に触れる製品にも要求は高まってきました。そこで今回は『金属アレルギー』についてレポート致します。

■ 金属アレルギーとは？

ネックレスやイヤリングなど宝飾品で肌がかぶれた経験がありませんか？

欧米人に比べて日本人は比較的、この金属アレルギーに耐性を持っている民族ですが、最近では金属にかぶれるアレルギー体質の若者が増えているようです。

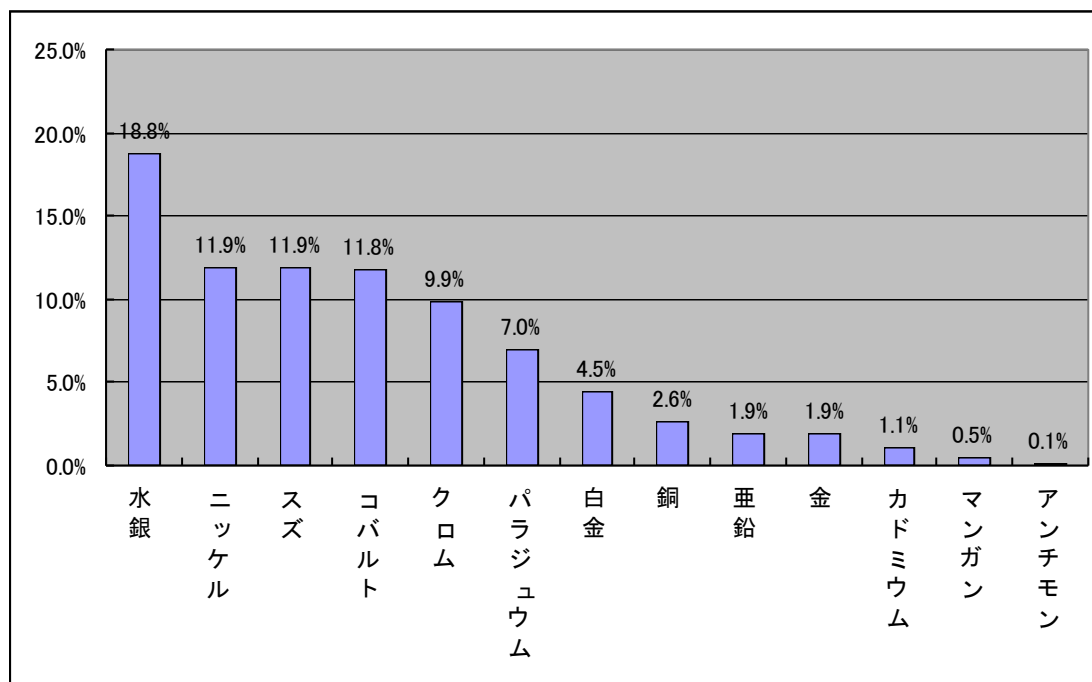
金属アレルギーとは、金属と接している皮膚にかゆみを伴う炎症を生じる病気のことです。その特徴は、今まで金属と接しても何もなかった人が突然ある時から、接した金属を拒絶する抗体がリンパ球にできて発病するというものです。同じ金属製のネックレスを繰り返し使っているうちに、汗で溶け出した金属イオンが体内に入り込み、免疫の働きで異物であると記憶され、抗体ができます。そのため、次に同じ金属に触れた時はかぶれてしまうというわけです。このアレルギーを引き起こす金属を『原因金属（アレルゲン）』と言い、いったん抗体ができてしまうと、その金属に接するたびに皮膚炎を生じるという厄介な病気です。

■ 金属アレルギーに対するめっきの現状

次の図は昭和62年に東京都済世会中央病院皮膚科で、患者さん274人に対して行った金属パッチテストの結果です。もっともアレルギー頻度の高いめっきはニッケル、コバルト、錫、クロムです。ただクロムは「皮革製品のなめし工程で使用される6価クロムが炎症を引き起こす恐れあり」ということであって、金属クロムであるめっき皮膜の場合、汗で溶け出す恐れはほとんどありませんし、仮に溶け出すことがあっても僅かな量の3価クロムであるため、アレルギーを引き起こす恐れはないと考えてよいでしょう。

では下地めっきに利用されているニッケルをどうするか。これには金属アレルギーを引き起こしにくい合金めっきを替わりに使用する事がポイントです。当社ではニッケルの替わりに合金めっきを使用しこの“金属アレルギー”に対応しております。耐食性についてはニッケルを使用した場合とでは条件が異なりますので耐食性確認は必要です。

また当社ではこの問題を解決する事を現在、進めております。すでにバレルめっきによる金属アレルギー対応めっきラインも稼動を開始いたしました。(治具めっきは以前より稼動しております)
金属アレルギーに関するお問合せは下記、連絡先までお願い申し上げます。



【トピックス】

ーピンクゴールドめっきはいかがですかー

とても上品でやさしい色調のピンクゴールド色。
現在発売中で売行きも好評のデジタルカメラにも採用されました。

流行に敏感でトレンドな人に受け入れられているようです。

携帯電話やオーディオプレーヤーといった他のデジタル機器の筐体やアクセサリパーツ、バックル、プレート等の服飾パーツにお勧めです。
シルバー色一辺倒の差別化として是非、ご検討ください。



ピンクゴールドめっき製品例

◇ 御社関連部署への回覧をお願いいたします。

【連絡先】

第一工場営業部	： 目良・笹島	TEL : 03-3696-1981	FAX : 03-3696-4511
F P 部	： 国井・上田	TEL : 同上	FAX : 03-3696-1973
技術部	： 井坂	TEL : 同上	FAX : 03-3692-9178
ヒキフネ技研	： 中山	TEL : 03-3695-5787	FAX : 03-3692-6152
HP アドレス	： http://www.hikifune.com		